

2人に1人が
がんに罹^{かか}る可能性があります
が早期発見で約9割が治癒します。

忘れず

✓ が ん 検 診

が
ん
検
診



チ
エ
ツ
ク

埼玉県のがん対策を
推進します



埼玉県マスコット「コガトン」 「さいたまっちゃん」

埼玉県におけるがん啓発・がん検診受診率向上に向けた
包括的連携に関する協定締結企業・団体

本リーフレットは、「埼玉県におけるがん啓発・がん検診受診率向上に
向けた包括的連携に関する協定」に基づく啓発活動として制作しました。

がんは昭和56年以降埼玉県の死因の第1位であり、4人に1人の県民ががんで亡くなっています。
また、早期発見・早期治療により、がんは治せる病気になりつつあります。
初期のがんにはほとんど自覚症状がなく、早期発見のため、定期的にごがん検診を受診することが大切です。
県では、協定を締結した民間企業や団体と協力して、がん検診の重要性などの普及啓発活動や、
がんに関する正しい知識の普及啓発に取り組んでいます。

お問合せ先 埼玉県保健医療部疾病対策課がん対策担当 ☎048-830-3599



協定企業・団体一覧

国が推奨するがん検診は次の5種類です

次のがん検診は、死亡率を減少させることが科学的に証明された有効な検診です。
受診の時期も併せて確認しましょう。

肺がん検診 (肺のX線検査、痰の検査 (対象者のみ))
罹患する人は40歳代以降に多く、がんによる死亡原因の上位に位置しています。

※特に喫煙者は非喫煙者と比べて男性は約4倍、女性は約3倍肺がんになりやすく、受動喫煙も肺がんのリスクを2~3割程度高めます。

**40歳以上の方は
毎年受診**

大腸がん検診 (便潜血検査)

罹患する人は40歳代以降に多く、がんによる死亡原因の上位に位置しています。

**40歳以上の方は
毎年受診**

胃がん検診 (胃のX線検査又は胃内視鏡検査)

罹患する人は50歳代以降に多く、がんによる死亡原因の上位に位置しています。

**50歳以上の方は
2年に1度受診**

乳がん検診 (マンモグラフィ検診)

40歳以上の女性では、最も罹患する人が多いがんであり、がんによる死亡原因の上位に位置しています。

**40歳以上の方は
2年に1度受診**

子宮頸がん検診 (子宮頸部の細胞診※1又はHPV検査単独法※2)

罹患する人が女性のがんの中でも比較的多いがんです。
20歳代後半から増加しはじめ、特に30~50歳代で多くなります。

**20歳以上の方は
2年に1度受診※1**

※2 HPV検査単独法の受診方法等の詳細については、お住まいの市町村のがん検診担当窓口にお尋ねください。

Q. がん検診はどこで受けられるの？

A. 市町村から委託を受けた医療機関などで受けることができます。
検診の対象となる年齢や実施時期、検査を行う場所、費用負担は、自治体によって異なります。詳細はお住まいの市町村のがん検診担当窓口にお尋ねください。



市町村のがん検診窓口
一覧はこちら



がんについて詳しく
知りたい方はこちら
(がん情報サービス)

